

社会福祉法人あじさいの会

○就労継続支援 B 型事業所 ☆主たる事業所 ゆったり工房 ○相談支援事業所 希望
☆従たる事業所 スローカフェゆったり

あじさいだより

NO.26

2023年1月発行



2023年 迎春



本年もよろしくお祝い申し上げます

社会福祉法人あじさいの会は、精神障害者が自立して地域で暮らしていくことができるための、施設環境の整備、当事者のニーズに合った支援ができる運営を目指して歩んでまいりました。

(社福) あじさいの会は、将来に向けての事業展開を図るにあたり、土地建物を法人の所有にする必要がありました。この地域は市街化調整区域であり、社会福祉施設として用途変更するためには、都市計画法、農地法の許可を得なくてはなりません。長い時間をかけて、施設の土地・建物を取得し、三本木で福祉施設として活動できる認可がおりました。環境豊かな三本木で、ゆったり工房のメンバー、そして地域の方々を含めた地域コミュニティの活動ができる希望が見えてきました。

都市計画法の認可を得るためには、進入路の拡大をする必要があり、大家さんのお母さまの家屋を解体しなければなりません。そのお母さまが丹精込めて作ったお庭を、ゆったり工房で大切に管理していくために「ミチエの庭」(お母さまの名前)と命名しました。春には桜、あじさい、蛍、そして「ミチエの庭」には私たちが大切にしている思いが石碑として並んでいます。利用者の憩いの場として、また地域の方々にも開放できる場になればと思っています。

精神障害のある人が地域の一員として安心して自分らしい暮らしをすることができるように、「精神障害者にも対応した地域包括ケアシステム」の構築の具現化が課題ではありますが、(社福) あじさいの会としては、それを構成する要素として、当事者の住まいの確保と居住支援、社会参加、当事者・ピアサポーターの支援を具現化することができました。とりわけ精神保健福祉の啓発活動として、開所当初から開催している、あじさいコンサートは当事者の社会参加、地域の方々、関係者を含めた“街づくり”へ貢献できました。そしてゆったり工房の活動で大切にしている、一人一人のリカバリーへの支援、その中で当事者活動のトータスゆったりの活動を充実させてきました。また当事者の力を信じて2人のピアスタッフが職員として働いています。ピアスタッフがいることにより、メンバーたちの安心感、リカバリーへの希望となっています。その中で職員もピアスタッフとともに歩いていくこと、そのためのスキルをつけていかなければならないという人材育成の課題もあります。

メンバー達はあじさいの会の活動を通して、自分たちの病気を受容し仲間の力を借りて、地域で生活する力をつけています。

誰もが安心して暮らせる「やさしい街づくり」の一員として、ともに歩いていきます。



社会福祉法人あじさいの会 理事長
ゆったり工房 管理者
相談支援事業所希望 管理者

小林千津子
田中美保乃 (業務執行理事)
椎葉 梢 (業務執行理事)

やさしい街づくりの一員として

第26回あじさいコンサートを開催しました！

昨年、7月9日（土）日進市民会館で、「第26回あじさいコンサート」を無事終わることができました。「いつでも どんなときも～出会いとつながりを大切に～」をテーマに、精神保健福祉の啓発活動に力を入れ、1部は精神保健福祉の歴史や精神疾患を抱えた当事者の思いを、ゆったり工房メンバーによる手話コーラス、田中秀一さんの歌、坂東弘美さんのナレーションによって披露しました。

2部は、はちまん正人さん、高由美さんの素敵な演奏で、フィナーレでは会場の皆さんと一緒に手話も行い、会場全体がつながることができた時間になったと感じました。

またコロナ禍で販売活動もままならない日々が続きましたが、去年は同時開催という形で、小ホールで、市内の福祉事業所、市民団体等の物品販売ブースも再開できました。多くのお客様から「とても素敵なコンサートだった」という感想を頂き、まさにコンサートを通して出会ってきた皆さまとのつながりを再確認することができました。ゆったり工房のメンバーにとっても、人とのつながりを感じることができるあじさいコンサートが、これからの希望につながっています。

当日、会場に足を運んでくださった皆さま、運営や準備等にご協力をいただいた皆さまのおかげで、あじさいコンサートを継続することができていることに、深く感謝申し上げます。

第26回あじさいコンサート実行委員長 椎葉 梢

第27回あじさいコンサートを開催します！

2023年6月10日(土) 日進市民会館大ホール

地域の皆さんとの出会いやつながりに感謝し、これまで開催してきたあじさいコンサートは、「メンバーの社会参加の場」であること、「地域の皆さんと一緒にやさしい街づくりを目指していく」こと等を大切にしてきました。第27回あじさいコンサートは、その思いを今後も継続して実現していきたいという願いを込め、「小さな一歩が大きな足あとに～継続は力なり～」というテーマにしました。あじさいコンサートの継続を目指し、30年以上継続して精力的に活動されている、コーラスグループ「コールひだまり」、デキシールランドジャズバンド「お達者クラブ」というグループをお迎えして、活動の原動力や培ってきたものを体感し、次なる目標に向かって歩いていきたいと思えます。

あじさいコンサートがこれまで継続できたのは、実行委員をはじめ、当日のボランティア、足を運んでくださる皆さまのご協力があったからです。一人ひとりの小さな思いからスタートしたあじさいコンサートも、継続してくる中で“やさしい街づくり”への大きな足跡になっていると思えます。あじさいコンサートで今年もぜひ、皆さんと一緒に街づくりを体感したいと思えます。皆様のご来場をお待ちしています。

第27回あじさいコンサート実行委員長 磯村 有美

注目!

今年は、あじさいの会後援会主催で、令和5年4月22日（土）にシンポジウム「あじさいコンサートを通じてリカバリーしたこと」を開催します。メンバー、職員、あじさいコンサートに関わる方々があじさいコンサートを通じて得たもの、自信をつけてきたこと等を、それぞれの立場で語ります。

当事者のリカバリーを信じて



精神障害者にも対応した地域包括ケアシステムの構築（検討会資料より）

●当事者・ピアサポーター

ピアサポートは同じ立場や課題を経験してきたことを活かして、仲間として支え合うこと。またピアサポーターとはピアサポートの有効性を活かす、実践をしている者。

精神障害があっても、安心して自分らしく暮らしていくためには、精神障害を有する者が内面的にも社会的にもリカバリーしていくことが重要です。そのため、身近に経験を共有できる仲間がいることの安心感や、リカバリーしていくことの目標の存在があることにより、内面的にも社会的にもリカバリーしていくことができます。

ゆったり工房では当事者が持っている力を信じて、平成19年から「トータスゆったり」の活動を支援しています。またピアサポーターとして当事者の働く場の提供をしています。

あじさいの会では、ピアスタッフとして2人の職員が働いています。



トータスゆるりの代表の丸子です。トータスゆるりでは、病気からリカバリーしている仲間が集まって同じ時を過ごしています。皆で近況報告をし、料理を作り夕食をともにしています。そして勉強会と誕生会等を行っています。僕は日進市の自立支援協議会の当事者代表でもありますが、それらを通して思うことは、自分たち自身も力をつけていくことが大切なのだろうということです。当事者も健常者も変わらず、一人の人間として人間力（社会を構成し運営するとともに、自律した一人の人間として生きていくための総合的な力）をつけていくことが大切なのだろうと思います。トータスゆるりでは、1カ月間のお互いの近況報告をしあいながら、お互いの理解を深めています。一歩ずつでも前へ進んでいければと思っています。トータスが今年も元気な場になるよう頑張っていきます。

ゆったり工房 トータスゆるり代表 丸子 哲郎



この病気と出会って30年、様々な経験を重ねてきました。今、ピアスタッフとしてゆったり工房で働けるようになり、大きな喜びを感じています。

みんなのリカバリーに携わりながら、自分もまたリカバリーしていける、という思いを抱くことができるのはとても幸せなことです。

人が回復していくために、仲間同士での支え合いは、大きな影響力があります。当事者同士の思いが尊重され、ピアサポートをすることにより、自分の人生をより豊かにすることができるのだと、僕は経験から信じています。

リカバリーはどんな人の心にも内在していると思います。ピアスタッフの役割は自分のリカバリー体験を活かすことだと思います。

ピアスタッフとして、人の幸せを願いながら、この役割に真摯に向かいたいと思っています。

ゆったり工房ピアスタッフ 岩田圭司

ゆったり工房とご縁をいただき、7月末からピアスタッフとして働いています。初めての体験も多く戸惑うこともありましたが、無事に新しい年を迎えることができました。

私は20年ほど前に病気になり、生きる希望を見出すまで長い時間掛かりました。私がリカバリーをしていくために必要であったことは、精神疾患を抱えた当事者である仲間が、様々な体験を意味あるものと捉え、人生を前向きに歩いていく姿でした。リカバリーとは今の自分を受け入れ、希望をもって生きていくことであり、リカバリーは一生続いていきます。いま、私はピアスタッフとしてメンバーと一緒に作業を行ったり、昼食を食べたり、雑談をしたりしています。

私もリカバリーの途中であり、仲間としてリカバリーを信じ、よりよい人生となるために一緒にリカバリーしていけたらと思います。

ゆったり工房ピアスタッフ 福島聡史

就労継続支援B型 ゆったり工房・スローカフェゆったり

ゆったり工房は、働くための第一歩として、自分の体調に合わせながら、ゆっくりと働く力をつけていくことができる場所です。ゆったり工房に通い、生活のリズムを整え、働くための力はもちろん、人との関係づくりやストレスの対処方法など、その人がその人らしく地域で生きていくための力をつけています。仲間との関わりや、日常の活動を継続していく中で、メンバーそれぞれの自己実現をめざし活動を続けています

スローカフェゆったりは、2008年10月、日進市立図書館開館とともにオープンし、今年15周年を迎えます。おかげさまで多くのお客様に利用していただき、無事15年目を迎えることができたこと、支えてくださった多くの方々に感謝申し上げます。

図書館内の地域に開かれた場所で、たくさんのお客様と交流しながら働くことができ、皆様に温かい言葉をかけて頂くことが、メンバーの自信や希望につながっています。

これからも食を介した地域のコミュニティの場として、「美味しかったね」「居心地がよかったね」とお客様に感じていただけるように、チームワークを大切に、活動をしていきたいと思っております。

管理者 田中美保乃

相談支援事業所 希望

主に精神疾患を抱えている当事者やその家族の基本相談とサービス等利用計画作成の業務を行っています。一人一人の様々な思いや夢や希望をお聞きする中で、その人らしく生活をしていくには、家族や関係機関との連携がとても大切だということを実感しています。

当事者やその家族が地域の中で安心して暮らせるよう、一人一人のニーズや課題と向き合いながら、つながりを大切に支援をしていきたいと思っています。

管理者 椎葉 梢

社会福祉法人あじさいの会へご寄付くださった方（令和3年12月～令和4年12月）

青木芳明、あじさいの会後援会、大田ミル子、大橋路代、加藤利幸、金田奇江、生田絹子、菊田和子、クラーク玲意、畔柳文俊、小嶋 實、小林千津子、小林恒雄、小林雄介、白坂恵、白坂大介、白坂牧人、白坂恵美、長柄伸子、能島正江、柴田康子、杉山 通、杉山稔禎、竹内美香、竹内美代子、田中 芸、田中美保乃、田中英美、田中祐三、下村綾女、下村陽介、丸子二郎、丸山路代、三浦 正、峯尾 宏、森下佐知子、山岡和人、脇田順子、渡辺 猛 <敬称略> どうもありがとうございました。

あじさいの会後援会 ～会員募集～

《会 費》個人会費 年間一口 2000円

法人会費 年間一口 10000円 （一口以上、何口でも結構です）

《宛先 郵便振替》口座番号 00890-6-2903 口座名義 あじさいの会後援会

令和3年度の社会福祉法人あじさいの会の事業報告書、決算報告書等はあじさいの会のホームページに掲載しております。

“社会福祉法人あじさいの会”で検索していただくか、アドレスをご参照ください。☞

ホームページQR



yuttari.net/

社会福祉法人あじさいの会 〒470-0101 日進市三本木町廻間 118-4

TEL (0561) 74-1943

FAX (0561) 58-0516

メール: k-yuttari511@kss.biglobe.ne.jp

◇就労継続支援B型事業所 主たる事業所 ゆったり工房

◇就労継続支援B型事業所 従たる事業所 スローカフェゆったり（日進市立図書館内）

◇相談支援事業所 希望（メール: ajisainokai-kibou@outlook.jp）

